



# もりっこ

第21号  
通信

## ＜理事長挨拶＞『子どもの居場所の「これから」を考えるフォーラム』へ登壇しました。

群馬県社会福祉協議会と群馬県が共催で開催したフォーラムへパネリストとしてお声掛けいただき、登壇してきました。群馬県内にも、様々な環境下において「相対的貧困」とされる子どもが増えてきているそうです。「相対的貧困」状況にある子どもたちには様々な格差がもたらされ、自己肯定感の低下や人間関係を上手に築けないなど、子どもの健全な育ちを考える上であまり好ましくない状態が見られています。

子どもの「相対的貧困」は7人に1人とされているそうです。見た目では分からない貧困の状況は、子ども自身の力で抜け出すことが難しく、様々な形での支援が必要です。行政も大きく動き出しました。さらに支援の輪が広がることを願います。

「自然体験活動は『子どもたちの居場所』になり得るか」という視点でお声掛けいただいた今回のご縁ですが、地域の中には居場所作りや学習支援、子ども食堂の運営などなど、子どもたちへの支援活動を行っている方がたくさんいらっしゃいます。想いを持って活動している多くの方と繋がり、体験活動の可能性を広め、どの地域にも子どもたちの居場所が確保できるよう、皆さんにもお力添えいただけると幸いです。 理事長 櫛島隼人



## 指導に出かけてきました！

### ◆1/25 (金) 高崎市内中学校「キャリア教育」授業講師



高崎市内の中学校で行われた「将来」や「働くこと」を考える授業に講師として迎えていただき、働くことへの想いをお話してきました。『なぜ保育の仕事なのか?』ということから、今まで働いてきた中でどんなことが印象に残っているか、など、様々な視点からの話に対し、中学生の皆も様々なことを感じてくれたようです。まだまだ学びの途中にいる彼らにとって「働く」ということは遠い出来事かもしれません。いつか社会に飛び出し、仕事の中で行き詰った時に今日の話思い出して次の一歩を踏み出すキッカケにしてもらえたらありがたいです。 (めで鳥)

### ◆2/10 (日) 群馬県青少年会館「子どもを未来へ導く指導者セミナー」

群馬県内で子どもたちを対象とした活動を行っている指導者を対象とした事業で、子どもたちの交流を促すゲームの指導法や、なぜそのゲームを行うと子ども同士が関わりやすくなるのかをお伝えしてきました。指導者として経験が浅い方は子どもの前に立っただけで緊張してしまいます。まずは自身がゲームを教えることを楽しめれば、指導者としても成長していくことができのでは?と考えています。子どもたちも日々、いろんな挑戦をしています。大人も負けずに挑戦する姿を見せていきたいと思ったセミナーでした。(めで鳥)



### ◆2/14 (木) 高崎市学童保育指導員の会 研修会

夏前からお手伝いしていた学童保育指導員の皆さんを対象とした研修会の最終回が実施されました。今までは「子どもを対象としたレクリエーションゲームの効果」やそもそもの「コミュニケーションとは」ということについてお伝えしました。最終回は大きなテーマで「学童保育」という仕事が子どもたちの何をどのように育てる場所になっているのか?を考えられるような内容でお話しました。改めて考える「学童保育」の仕事に大きな可能性と責任を感じ取っていただいたように思います。今後も連携していきたいと思えます。(めで鳥)

### ◆2/23 (土) 前橋市内こども園 職員研修



前橋市内「こども園」職員さんを対象とした研修会に講師としてお招きいただきました。普段は自然の中で保育活動を行う我々だからこよできる「リスクマネジメント」についての講義を行います。講義の前には職員さんにコミュニケーションの大切さを感じられるようなゲームを体験していただき4月より新たに仲間となる新任の方も交えて、みんなでワイワイと学ぶ時間となりました。リスクマネジメントを学ぶ時は真剣な表情で、園での生活に生かしていただけるようお話することで精いっぱいです。途中、息抜きと表現の技術を学ぶ機会として「子ども向けエンターテイナー」として活躍する「せきあっし」さんに人間紙芝居を披露していただきました。面白いだけでなく仕掛けが沢山詰まったショーに、大盛り上がりとなりました。(めで鳥)



## ◆2/24 (日) 群馬県青少年会館「リーダー指導者ミーティング」

青少年団体は群馬県内にもたくさんあり、さまざまな活動を行っています。そんな団体をまとめ、リーダーとして活躍される方を対象とした研修会で講師を務めてきました。メンバーのモチベーションを高める関わり方や、どのようにしたら主体的に機能する組織になるのか、様々な視点から情報提供を行いました。参加者それぞれの背景を共有し、最後には合意形成を図ることの難しさを体験できるゲームを実施しました。価値観が違うメンバーが集まることで意見が合わず、答えを出せないもどかしさもあります。日ごろのコミュニケーションが肝要ですね! (めで島)



## ◆群馬県が進めるプログラム「ほめトレ」のご紹介

「ほめて育てるコミュニケーション・トレーニング」(通称:ほめトレ)とは、良好な親子関係を築き、しつけを効果的に行うための、コミュニケーションを学ぶ群馬県のオリジナルプログラムです(群馬県庁ホームページより抜粋)。先日、群馬県庁が運営するホームページに「ほめトレ」の説明動画が公開されました。多くの方に見ていただければと思います。「ほめトレ 群馬」で検索!

<https://smilelife.pref.gunma.jp/pc/childrearing/hometore/>

## 【森のようちえん事業報告】

### ①プログラム提供事業

【幼稚園・保育園を対象とした事業】

#### ◆森のようちえん・森のほいくえん

主に前橋市内の幼稚園・保育園・こども園を対象にプログラムを提供

1月～3月 1件 **参加人数 37人**

(内、引率の先生3人)

こども園職員研修 1件

### ②指導者派遣(1月～3月)

【関係団体の講習会、研修会などへの派遣】

12件(出展、レクリエーション指導、等)

群馬県社会福祉協議会、群馬県主催フォーラム

群馬県青少年育成事業団、地域イベント運営

中学校キャリア教育講師派遣など

### ③主催事業(10件)

・森のようちえん～ほんわか～(年少～年長の子どもとその親)

◎1/27(日) 18組 47人

⑩3/ 3(日) 22組 60人 計 107人

・親子の森のようちえん(年少～年長の子どもとその親)

◎1/13(日) 6組 20人 ⑦2/17(日) 12組 30人

⑧3/21(木祝) 12組 35人 計 85人

・もりっこ(年長～小2の子ども)

◎1/12(土) 10人 ⑦2/16(土) 10人

⑩3/16(土) 7人 計 27人

・雪遊びキッズキャンプ

3/9(土)～3/10(日) 16人

・あかぎぐんぐんキャンプ(小1～小4)

④3/24(土)～3/25(日) 11人

**参加者総数 248人 ボランティアスタッフ 延べ47人**

## 【平成30年度の延べ参加者数】

◆森のようちえん・森のほいくえん 2133人(引率298人) ◆主催事業 参加者:1037人 ボランティア454人

たくさんの方にご参加、ご支援いただきました。ありがとうございました。

**参加者総計: 3624人**

## 【賛助会員・寄付のお願い】

あかぎの森のようちえんでは、法人の方針でもある『自然を使って身近な社会の課題を解決し合える社会をつくりまします』の趣旨に賛同してくださる方々からの寄付を募集しております。支援の方法は2つあります。

①活動全般へ寄付をする ②賛助会員になる ～～ 詳細は、事務局までお問合せください。 担当: 櫛島

## 【ボランティア大募集!】

あかぎの森のようちえんでは、森の中で子どもたちと遊んでくれるボランティアさんを大募集しています。

平日、週末と活動をしております。興味がある方は事務局までご連絡ください。主な内容は、子どもたちと一緒に遊び、子どもたちの安全を保つことです。関わる上で大切な「あかぎの森のようちえん」の活動の主旨などもご説明いたします。担当までご連絡ください。

**Mail: info@akagi-moriyou.com 担当: 櫛島(めで島)**

特定非営利活動法人あかぎの森のようちえん

代表 櫛島 隼人(めで島 はやと)

090-9006-8711 info@akagi-moriyou.com

〒371-0805 群馬県前橋市南町3-44-5 プラトン白亜 605-1

<ホームページ> <https://akagi-moriyou.com>

～～～【あかぎの森】で検索!～～～



Facebook



instagram



LINE@



Web

様々な媒体で情報発信しています。ご覧ください!